

「住み継ぐまちづくり」基盤整備事業（NPO法人 くらすむ滋賀）

課題	これまでの美しい街並みづくりを目指した活動の中で、空き家化の防止や空き家となった際も街並み景観が維持される仕組みづくりの必要性を実感し、美しい家屋が住み継がれ後世に紡いでいくため、所有者の語りから暮らしや家屋への想い、建築様式に込められた暮らしの経過に寄り添い、総合的に家屋を継承する仕組みを創出することを目指す。
目的	令和元年度国土交通省「空き家対策の担い手強化・連携モデル事業」を通じて、NPO法人として中心的に扱う「住まいの記憶史」調査を実施し、調査を通じて家屋所有者の意識の変化を確認できたほか、空き家（家屋）を軸とした「住み継ぐまちづくり」の可能性を見出すことができた。こうした取組をもとに、NPO法人による空き家対策に向けた基盤づくりを進めていきます。
取組内容	①住まいの記憶史を通じたマッチング支援の推進 ②住み継ぐネットワークの拡充 ③市街化調整区域における空き家利活用連携事業の検討 ④NPO活動の周知
成果	①（仮称）「住まい手の横顔」の製作（利活用希望者の個性・特徴等の見える化による空き家バンクへの登録促進） ②「こあき屋」（終活）との連携・ネットワークづくり ③市街化調整区域における空き家利活用方策の検討 ④NPO法人のウェブページ・ロゴ製作、PR活動等

NPO法人くらすむ滋賀の基盤整備の充実

（NPO法人）↔

①住まいの記憶史を通じたマッチング支援の推進

利活用希望者の「住まい手の横顔」を作成し、利活用者側の想いを見せる化。「住まい記憶史」への繋がりづくり

②住み継ぐネットワークの拡充

広域連携や福祉分野との連携を強化。空き家対策の広域的で、組織横断的なネットワークづくり

地域

高齢者
（予備軍）

空家等
所有者

利活用
希望者

住み継ぐ
まちづくり

NPO

専門家

③調整区域での空き家利活用連携事業の検討

市街化調整区域における規制の在り方検討による利活用スキームの検討。市街化調整区域にある空き家物件の類型化を図り、具体的な活用方策を検討

栗東市

④NPO活動の周知

NPO活動を軌道に乗せるための周知ツールとして、パンフレットやウェブページの作成。活動全般を見せる化

↔